

「風しんの現状と対策について」

昨年から全国的な流行が続いている風しんですが、奈良県でも、患者が報告されており、患者の 7 割が男性で 40～50 歳代のかたが多く、全国状況と同じです。この世代の男性は風しんの抗体(免疫)が低いかたが 2 割程度存在しているため感染しやすいといわれています。

<風しんとは>

風しんは、咳やくしゃみなどで唾液とともにウイルスが空気中に飛散し、そのウイルスを吸い込んだ場合に感染します。通勤途中や職場で知らず知らずのうちにうつされてしまう可能性が高い病気です。症状としては、発疹・発熱・耳の下リンパ節の腫れが現れ、数日で治ります。成人は小児に比べ症状が重くなることがあります。最も怖い点は、**風しんの免疫のない女性が妊娠初期(20 週頃まで)に感染すると、赤ちゃんが先天性心疾患・白内障・難聴を特徴とする先天性風しん症候群をもって生まれてくる可能性が高くなる**ということです。

<予防・対策について>

風しんは予防接種で予防可能な感染症です。妊娠中は予防接種を受けることができませんので、抗体価の低い妊婦さんは可能な限り人混みを避け、不要不急の外出を控えたり、周りの家族や免疫が低いかたなど、社会全体が予防接種を受けて風しんを予防することが重要です。

風しん予防対策として、子どもの時期(1 歳と年長の 1 年間)の麻しん風しん混合ワクチンの定期接種がありますが、国・県・市で様々な成人以降の風しん予防対策を行っていますので、ご自身やご家族が風しんの予防接種を受けたか、過去に風しんに感染したかどうかご不明な場合は上手く制度を活用し、社会全体で風しんにさよならをしましょう!!

<国が実施する 風しんの追加的対策の期間が延期されました!!>

令和 7 年 3 月 31 日まで、以下の対象のかたは、風しん抗体検査・予防接種(抗体検査の結果、必要なかた)を無料で受けられます。

対象者：昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性

～抗体検査・予防接種までの流れ～

- ① 抗体検査・予防接種を受けられていないかたに、令和 4 年 5 月頃無料クーポン券を送付し、令和 6 年 2 月頃案内のはがきを送付しています。

※転入や紛失によりクーポン券がお手元にないかたは健康推進課(TEL51-5700)へお問い合わせください。



- ② 抗体検査を受けてください。(クーポン券・本人確認書類が必要です)

抗体検査は、本事業に参加している[全国の医療機関](#)等で受けられます。また、勤務先の事業所健診や、特定健診の機会に受けていただくことも可能です。事業所健診の場合は勤務先、集団特定健診の場合は健康推進課(TEL51-5700)へお問い合わせください。



- ③ 抗体検査の結果が届きます。(医療機関に受け取りに行くこともあります)

抗体なしの場合…風しんへの抵抗力がありません。風しんにかかるリスクがあります。

⇒ 予防接種を受けましょう(クーポン券・本人確認書類・抗体検査結果が必要です)

抗体ありの場合…風しんへの抵抗力があります。予防接種の対象となりません。

☆抗体検査や予防接種が受けられる医療機関の検索や国の風しん対策についての詳細は、インターネットで厚生労働省ホームページ[風しんの追加的対策](#)をご覧ください。

<上牧町の任意成人風しん（麻しん風しん混合）予防接種費用助成制度について>

上牧町では、国が実施する風しんの追加的対策の対象のかた以外の下図の町独自の対象者に風しん（麻しん風しん混合）の予防接種費用の一部助成を実施しています。[申請についてはこちら](#)

町独自の対象者及び対象外のかたの任意の予防接種については、一部医療機関または**トラベルクリニック（奈良県立医科大学附属病院 海外渡航者外来・感染制御内科Tel.0744-22-3051）**にて接種が可能です。

詳しくは健康推進課（Tel.51-5700）までお問い合わせください。

風しん予防接種対象者		H13.4.2以降生まれ	S54.4.2～H13.4.1生まれ	S37.4.2～S54.4.1生まれ	S37.4.1以前生まれ
令和6年度に達する年齢		～23歳	24～45歳	46～62歳	63歳～
男性		対象外		国制度の対象者	対象外
	妊娠している女性の配偶者及び同居家族	町独自の対象者			町独自の対象者
女性	※妊娠中のかたは対象外	対象外			
	妊娠希望している女性	対象外	町独自の対象者		
	妊娠している女性の同居家族	町独自の対象者			

注) いずれの方もすでに風しんにかかったことが明らかな方・風しんの予防接種を2回完了しているかたは対象外です。